



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



2019
健康経営銘柄
Health and Productivity



2019年12月23日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

フジ住宅がスポーツ庁による令和元年度「スポーツエールカンパニー」に認定されました

当社は、このたび、スポーツ庁から令和元年度「スポーツエールカンパニー」(英語名称: Sports Yell Company) に認定されましたので、お知らせいたします。



スポーツ庁では、運動不足である「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的気運の醸成を図ることを目的として、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを実施している企業を「スポーツエールカンパニー」として認定する制度を実施しています。

当社は、2018年度、2019年度に経済産業省と東京証券取引所が共同して選定を行う健康経営銘柄に2年連続選定され、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取り組みを展開しており、普段からの健康的な生活習慣の定着に向け、運動に親しむきっかけ作りを推進しております。

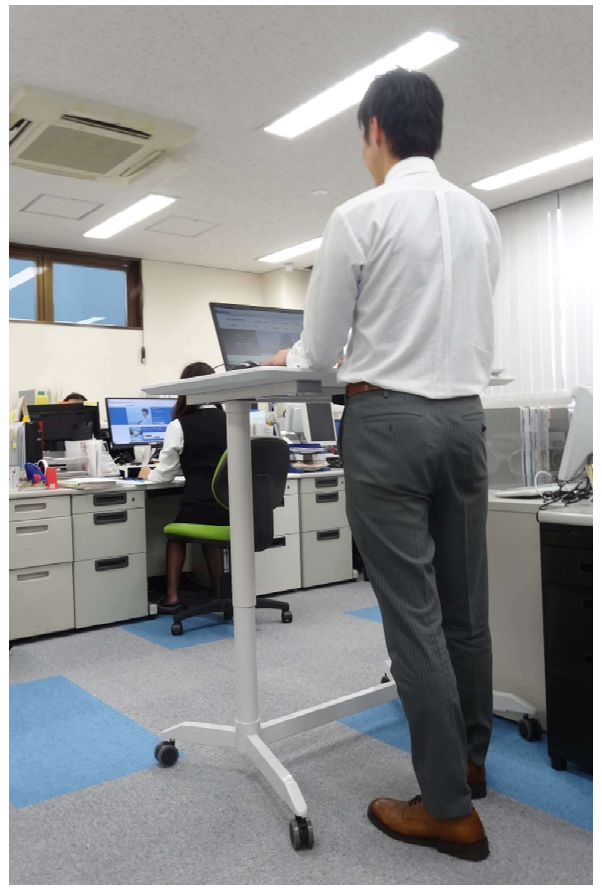
スポーツへの積極的な取り組みとして、内部でストレッチやトレーニングもできる【ボックス型】の高気圧酸素BOX(定員 最大10名)の設置、健康保険組合と連携したウォーキングイベントの実施や、スニーカー通勤の歩行奨励、管理部門を中心に昇降式デスクの導入などの取り組みを実施し、健康保持増進を推進しています。

今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取り組みを継続的に行い社員のやる気を引き出し、長期的な業績向上を目指して参ります。

以 上



【スニーカー通勤風景】



【昇降式デスクでの仕事風景】



【高気圧酸素BOX】



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



2019
健康経営銘柄
Health and Productivity



2019年9月20日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

株式会社日本政策投資銀行による 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」最高ランク格付取得について

当社は、このたび、株式会社日本政策投資銀行(本社：東京都千代田区、以下「DBJ」という)が実施する「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」にて、2年連続3度目の最高ランクの格付を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

「DBJ健康格付」融資は、DBJが独自の評価システムにより、企業の健康経営への取り組み、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取り組みを展開して参りました。今回の「DBJ健康経営格付」においては、以下の点が評価されました。

- (1) 経営理念に基づく「フジ住宅グループ健康宣言」のもと、取り組み施策に係る中期目標を掲げ、生活習慣病対策を中心に健康保持・増進に資する各種取り組みを着実に実行するとともに、全従業員を対象にした保健指導や健康関連書籍の配付等を通じ、ヘルスリテラシーの向上に継続的に取り組んでいる点
- (2) 今年度より外部有識者との間でメンタルヘルス対策に関する定期的な協議を開始し、専門相談窓口の新設や社内研修の見直しなど、予防的観点にも重きを置いた施策の拡充を進めている点
- (3) 経営理念勉強会をはじめとする独自の各種取り組みを通じ、健康経営の取り組み意義の社内浸透を図るだけでなく、健康経営の地域社会への浸透や普及に向けて、HP や講演会等の機会を通じて積極的に情報発信を行っている点

当社は、今年度、経済産業省が東京証券取引所と共同で実施する「健康経営銘柄2019」に選定され、また同時に、経済産業省が日本健康会議と共同で実施する「健康経営優良法人2019 大規模法人部門(ホワイト500)」にも認定されました。当社グループは、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取り組みを継続的に行い社員のやる気を引き出し、長期的な業績向上を目指して参ります。



以 上

CERTIFICATE

認定証



DBJ健康格付 2019



フジ住宅株式会社 殿

This Certifies

貴社は『DBJ健康格付』調査の結果
従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている
と認められました

株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長

渡辺一



Date 2019年9月20日

Signature



平成31年2月22日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

フジ住宅が「健康経営銘柄2019」及び 「健康経営優良法人2019 大規模法人部門（ホワイト500）」に選定されました

当社は、平成31年2月21日付で経済産業省が東京証券取引所と共同で選定を行う「健康経営銘柄2019」に選定されました。また同時に、経済産業省が日本健康会議と共同で認定を行う「健康経営優良法人2019 大規模法人部門（ホワイト500）」にも認定されました。「健康経営銘柄」は今回で2年連続3度目の選定となり、「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」は3年連続で認定されました。詳細につきましては下記の通りです。

記

「健康経営銘柄」とは、東京証券取引所の上場企業の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業が「健康経営」に優れた企業として選定されるもので、長期的な視点で企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による「健康経営」の取り組みを促進することを目指すものです。選定方法は33業種毎原則1社の最大33社となり、該当企業がない場合その業種からは非選定となりますが、今年度より健康経営に特に優れている企業のうち、同業種より複数企業が選定されることになりました。今年度は国内全上場会社3,740社中、28業種37社が選定されました。

「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」とは、一昨年度より始まりました認定制度であり、上場企業に限らず、保険者と連携して優良な健康経営を実践している全国の医療法人をはじめとする大規模法人を対象に顕彰するものです。



平成31年2月21日 発表会（イイノホールにて）

【「健康経営銘柄 2019」選定企業一覧（37 銘柄、銘柄コード順）】

銘柄コード	企業名	業種	備考
1332	日本水産	水産・農林業	初選定
1820	西松建設	建設業	初選定
2432	ディー・エヌ・エー	サービス業	初選定
2802	味の素	食料品	3回目
3591	ワコールホールディングス	繊維製品	4回目
3880	大王製紙	パルプ・紙	初選定
4452	花王	化学	5回目
4507	塩野義製薬	医薬品	4回目
4543	テルモ	精密機器	5回目
4689	ヤフー	情報・通信業	初選定
4902	コニカミノルタ	電気機器	4回目
5020	JXTGホールディングス	石油・石炭製品	初選定
5195	バンドー化学	ゴム製品	3回目
5332	TOTO	ガラス・土石製品	5回目
5411	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2回目
5801	古河電気工業	非鉄金属	初選定
6146	ディスコ	機械	初選定
6448	ブラザー工業	電気機器	2回目
6645	オムロン	電気機器	初選定
6856	堀場製作所	電気機器	初選定
6902	デンソー	輸送用機器	3回目
7751	キヤノン	電気機器	初選定
7936	アシックス	その他製品	2回目
8060	キヤノンマーケティングジャパン	卸売業	2回目
8252	丸井グループ	小売業	2回目
8379	広島銀行	銀行業	初選定
8411	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2回目
8566	リコーリース	その他金融業	3回目
8601	大和証券グループ本社	証券、商品先物取引業	5回目
8630	SOMPOホールディングス	保険業	初選定
8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	初選定
8766	東京海上ホールディングス	保険業	4回目
8860	フジ住宅	不動産業	3回目
9005	東京急行電鉄	陸運業	5回目
9502	中部電力	電気・ガス業	初選定
9687	KSK	情報・通信業	初選定
9719	SCSK	情報・通信業	5回目

【健康経営銘柄 選定回数 (計66社)】

5回選定企業 (6社)	
化学	花王
精密機器	テルモ
ガラス・土石製品	TOTO
証券・商品先物取引業	大和証券グループ本社
陸運業	東京急行電鉄
情報・通信業	SCSK
4回選定企業 (4社)	
繊維製品	ワコールホールディングス
医薬品	塩野義製薬
電気機器	コニカミノルタ
保険業	東京海上ホールディングス
3回選定企業 (9社)	
食料品	味の素
ゴム製品	バンドー化学
鉄鋼	神戸製鋼所
金属製品	リンナイ
輸送用機器	デンソー
小売業	ローソン
その他金融業	リコーリース
不動産業	フジ住宅
空運業	日本航空
2回選定企業 (14社)	
1回選定企業 (33社)	

※2015年より始まった健康経営銘柄企業の選定について、国内全上場会社3,740社のうち、のべ66社が選定されています。

※3回以上選定された企業は、19社であります。(当社3回)

※不動産業種では、最多の選定回数となります。

1. 「健康経営」に対する当社の考え

会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。

「企業は人なり。社員の健康・幸福なくして、顧客満足、会社の発展は成し得ない。」

フジ住宅は、創業当初よりお客様が安心して心から喜んでいただける住まいを提供し続けることを当社の存在意義とし、事業を営んでおります。

お客様に心から幸せになっていただきたいと本気で考えるからこそ、まずは当社で働く社員が心身共に健康であること。仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが大切であると考え、その為の職場環境作りを徹底して行っております。

2. 健康経営に関する取り組み

経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な環境を整えております。

定期健康診断では、事業所内で勤務時間中に健診を受診できる環境の整備により100%の受診率を達成し、健康診断の結果により特定保健指導対象に該当した社員に対しても、事業所内で勤務時間中に保健指導を実施しています。

また、社内各事業所に健康設備、機器を設置し、勤務時間中でも気軽に利用して頂ける環境を整備しています。社員の健康意識の向上につながり、健康増進と働きやすさを同時に実現する職場環境づくりにも努めています。

さらに、社員が悩み、ストレスを溜める前に上司に相談できる環境を経営トップが率先して整え、当社の企業風土として定着しており、心身ともにストレスのない職場づくり、風通しの良い企業風土の醸成につながっています。

当社の経営理念に基づいた健康経営に関する取り組みがこの度の認定にて評価いただいたものと認識しております。

「健康経営銘柄 2019」及び「健康経営優良法人 2019 大規模法人部門（ホワイト 500）」に選出された名誉を全社員で共有し、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向け全社一丸となり取り組んで参ります。

社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的な取り組みによる企業価値の向上を通じてお客様や株主様、機関投資家の皆様、地域社会の皆様、ひいては国家の繁栄へとつながり、全てのステークホルダーへの社会的責任を果たすべくこれからも邁進して参ります。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

<御参考>経済産業省ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2018/02/20190221001/20190221001.html>

<御参考>東京証券取引所ニュースリリース

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20190219-01.html>

以 上

平成30年11月2日

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」受賞に関するお知らせ

当社は、総務省主催の平成30年度「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

総務省は、平成27年度から、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」とし、その中から十分な実績を持つ企業等を「テレワーク先駆者百選」として公表し、平成28年度からは「テレワーク先駆者百選」の中から特に優れた取組みの5社が「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」として表彰されています。この度、当社が「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞いたしました。

1. 「テレワーク」に対する当社の考え

当社は、働き方改革の一環として「テレワーク」を推進することで、当社で働く社員が柔軟な働き方ができる環境づくりを目指しております。まずは社員が仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが大切であると考え、社員が幸せに働ける環境整備に取り組むことにより、業績・企業価値の向上を実現できるものとして職場環境作りを徹底して行っております。

2. 「テレワーク」に関する取組み

総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省・内閣官房・内閣府主催の、今年の「テレワーク・デイ」、今年の「テレワーク・デイズ」への参加を経て、場所や時間にとらわれない働き方(=テレワーク)を推進して参りました。

社員の家族がインフルエンザ等の流行性の感染症に罹患した場合、社員の希望によって、看病しながら自宅で働けるよう、就業規則を変更し、テレワークの利用実績を重ねております。昨今の台風等の災害時にも自宅で働くための環境も整っており、柔軟な働き方を実現しております。

また、遠方(茨城県・山口県)に在住の身障者2名は、テレワークにて完全在宅勤務をとっております。そのうち1名はパラリンピックを目指すアスリートであり、競技生活と業務を両立できるよう、可能な限り働きやすい環境整備やサポートをしております。

来たる11月29日(木)に、総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省主催にて開催される「働く、が変わる」テレワークイベントにて、総務省の「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」と厚生労働省の「輝くテレワーク賞厚生労働大臣賞」の合同表彰式が開催される予定となっており、当社は「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」の受賞者として出席いたします。



遠距離在宅勤務風景 (茨城県銚田市)

当社は引き続き、投資家の皆さまのご期待に応えるべく、企業価値の向上に努めて参る所存です。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

<ご参考>

① 「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」受賞の5社

・ 向洋電機土木株式会社
・ 日本ユニシス株式会社
・ フジ住宅株式会社
・ 三井住友海上火災保険株式会社
・ 株式会社WORK SMILE LABO

(五十音順)

② 総務省ニュースリリースURL

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000218.html

以 上



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



2018
健康経営銘柄
Health and Productivity



平成30年8月31日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

株式会社日本政策投資銀行による 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」最高ランク格付取得について

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行(本社：東京都千代田区、以下「DBJ」という)が実施する「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」にて、一昨年度に続き2度目の最高ランクの格付を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

「DBJ健康格付」融資は、DBJが独自の評価システムにより、企業の健康経営への取組み、従業員の健康配慮への取組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取組みを展開して参りました。今回の「DBJ健康経営格付」においては、以下の点が評価されました。

- (1) 定期健康診断に関して、法定内検査項目に加えて大腸がん検査、腫瘍マーカー等を全額負担で導入すると共に、同様の検査メニューを社会保険未加入の短時間勤務者に対しても会社負担で実施することに加え、24時間対応可能な健康相談ダイヤルや健康測定機器の設置、健康書籍の案内など、全社員の自発的な健康保持・増進を促す各種施策が充実している点
- (2) 公正な評価を実施するための360度人事評価制度や、創意工夫を促す提案制度、全社員が推薦する権利を持つ表彰制度などを導入し、社員のワークエンゲージメントを高めると共に自立型人財の育成にも注力している点
- (3) 経営トップに直接相談できる会長、社長への質問会や、役職員全員を対象とした親孝行月間寸志支給、記念日花束送付など、経営理念を体現した独自の取組みを通じ、「社員とその家族の健康と幸せを第一に願う」という理念や健康経営に取り組む意義を全社員に浸透させている点

当社は、今年度、経済産業省が東京証券取引所と共同で実施する「健康経営銘柄 2018」に選定され、また同時に、経済産業省が日本健康会議と共同で実施する「健康経営優良法人 2018 大規模法人部門(ホワイト500)」にも認定されました。当社グループは、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取組みを継続的に行い社員のやる気を引き出し、長期的な業績向上を目指して参ります。



以 上

CERTIFICATE

認定証



DBJ健康格付 2018



フジ住宅株式会社 殿

This Certifies

貴社は『DBJ健康格付』調査の結果
従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている
と認められました

株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長

渡辺一



Date 2018年8月31日

Signature

 DBJ 日本政策投資銀行

平成 30 年 8 月 8 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄選定に関するお知らせ

当社は、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出している「JPX日経中小型株指数」の2018年度の構成銘柄として選定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

「JPX日経中小型株指数」は、「JPX日経インデックス400」導入時の「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするとのコンセプトを中小型株にも適用することで、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業を選定するとともに、こうした意識をより広範な企業に普及・促進を図ることを目指すもので、併せて、こうした企業への投資者の投資ニーズに応えることを企図されています。

本指数は、東京証券取引所の上場銘柄から、適格基準によるスクリーニングを経た上で、3年平均ROE、3年累積営業利益などの定量的な指標及び独立した社外取締役の選任等の定性的な要素を加味して行われて選定された200銘柄で構成されます。

当社は引き続き、投資家の皆さまのご期待に応えるべく、企業価値の向上に努めて参る所存です。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

(ご参考)

「JPX日経中小型株指数」の詳細につきましては、株式会社東京証券取引所のホームページをご参照ください。

<http://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/01.html>

以 上

平成30年2月21日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

**フジ住宅が「健康経営銘柄2018」及び
「健康経営優良法人2018 大規模法人部門（ホワイト500）」に選定されました**

当社は、平成30年2月20日付で経済産業省が東京証券取引所と共同で選定を行う「健康経営銘柄2018」に選定されました。また同時に、経済産業省が日本健康会議と共同で認定を行う「健康経営優良法人2018 大規模法人部門（ホワイト500）」にも認定されました。「健康経営銘柄」は今回2度目の選定となり、「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」は2年連続で認定されました。詳細につきましては下記の通りです。

記

「健康経営銘柄」とは、東京証券取引所の上場企業の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営」に優れた企業として選定されるもので、長期的な視点で企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による「健康経営」の取り組みを促進することを目指すものです。選定方法は33業種毎1社選定され最大33社となりますが、該当企業がない場合、その業種からは非選定となります。今年約3,500社中、26業種26企業が選定されました。

「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」とは、昨年度より始まりました認定制度であり、上場企業に限らず、保険者と連携して優良な健康経営を実践している全国の医療法人をはじめとする大規模法人を対象に顕彰するものです。



経済産業省の大串政務官とプレゼンターの澤穂希さんと宮脇宣綱代表取締役社長



【「健康経営銘柄 2018」選定企業一覧（26 銘柄、銘柄コード順）】

銘柄コード	企業名	業種	備考
1911	住友林業	建設業	2回目
2412	ベネフィット・ワン	サービス業	初選定
2802	味の素	食料品	2回目
3591	ワコールホールディングス	繊維製品	3回目
4452	花王	化学	4回目
4507	塩野義製薬	医薬品	3回目
4543	テルモ	精密機器	4回目
4902	コニカミノルタ	電気機器	3回目
5159	バンドー化学	ゴム製品	2回目
5332	TOTO	ガラス・土石製品	4回目
5411	JFEホールディングス	鉄鋼	初選定
5803	フジクラ	非鉄金属	初選定
5947	リンナイ	金属製品	3回目
6383	ダイフク	機械	初選定
6902	デンソー	輸送用機器	2回目
7911	凸版印刷	その他製品	初選定
8060	キヤノンマーケティングジャパン	卸売業	初選定
8252	丸井グループ	小売業	初選定
8411	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	初選定
8566	リコーリース	その他金融業	2回目
8601	大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業	4回目
8766	東京海上ホールディングス	保険業	3回目
8860	フジ住宅	不動産業	2回目
9005	東京急行電鉄	陸運業	4回目
9202	ANAホールディングス	空運業	初選定
9719	SCSK	情報・通信業	4回目



平成 30 年 2 月 20 日 発表会（有楽町朝日ホールにて）

1. 「健康経営」に対する当社の考え

会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。

「企業は人なり。社員の健康・幸福なくして、顧客満足、会社の発展は成し得ない。」

フジ住宅は、創業当初よりお客様が安心して心から喜んでいただける住まいを提供し続けることを当社の存在意義とし、事業を営んでおります。

お客様に心から幸せになっていただきたいと本気で考えるからこそ、まずは当社で働く社員が心身共に健康であること。仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが大切であると考え、その為の職場環境作りを徹底して行っております。

2. 健康経営に関する取り組み

経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な環境を整えております。

具体例として、定期健診では法定内検査項目に加え、大腸がん検査、乳がんエコー検査、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査等を全額会社負担にて導入しております。健康保険組合未加入のパート勤務社員に対しても全額会社負担にて実施し、事業所内で勤務時間中に健診を実施することにより100%の受診率を達成しております。また、健康診断の結果により特定保健指導対象に該当した社員に対しても、事業所内で勤務時間中に保健指導を実施することで、約80%の受診率となっています。さらに昨年より40歳未満も対象とし、早期段階からの改善による生活習慣病の重症化予防や発症予防に繋げる取り組みを行いました。

また、社員が悩み、ストレスを溜める前に上司に相談できる環境を経営トップが率先して整え、当社の企業風土として定着しており、昨年実施のストレスチェックでは、実施者の約96%が高ストレスを感じていないという結果に表れました。

当社の経営理念がこの度の認定にて評価いただいたものと認識しております。

「健康経営銘柄 2018」および「健康経営優良法人 2018 大規模法人部門（ホワイト500）」に選出された名誉を全社員で共有し、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向け全社一丸となり取り組んで参ります。

社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的な取り組みによる企業価値の向上を通じてお客様や株主様、機関投資家の皆様、地域社会の皆様、ひいては国家の繁栄へと繋がり、全てのステークホルダーへの社会的責任を果たすべくこれからも邁進して参ります。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

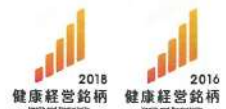
<御参考>経済産業省ニュースリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2017/02/20180220002/20180220002.html>

<御参考>東京証券取引所ニュースリリース

<http://www.jpx.co.jp/news/1120/20180220-01.html>

以 上



フジ住宅株式会社

毎月集める社員の声を健康づくりに積極活用。
柔軟な取り組みで一人ひとりの健康増進を後押しする健康経営

フジ住宅株式会社は、「企業は人なり。社員の健康、幸福なくして、企業の発展は成し得ない」という創業者の想いを礎に、社員を大切にする経営方針を打ち出しています。そのための行動方針として、「役職員の安全と健康に配慮し、快適な職場の形成に努めます」と明記し、取引業者に対しても健康経営について自社の方針を説明しています。

経営トップが健康づくりの重要性を全社員に発信し、社員一人ひとりに向き合いメンタルケアに携わるなど積極的に関与。産業医や保健師と連携した施策実行に加え、次年度からは健保組合との連携体制強化を目指しています。全社員参加による取り組みを展開するほか、健診や専門スタッフによる健康相談の充実化にも力を入れています。



社内実施の健診の様子

フジ住宅株式会社の健康経営 4つの側面から



1 「企業は人なり」。従業員の健康は重要な経営資源である

社員一人ひとりが心身共に健康であり、業務上はもちろんのこと、人生上においても明るく、元気に、イキイキと充実した時間を送ることが企業にとっても大きな活力となり、重要な経営資源であると考えています。社長名で「フジ住宅グループ宣言」を発表し、社員およびその家族の健康管理に努めています。

2 経営トップが積極的に発信する体制のもと、社員からの声を健康施策に反映

経営トップが全社の健康保持・増進の責任者であり、人事部内の「人財開発室 健康推進チーム」が施策を強力に推進。月に1回、書面で社員から多様な意見を集め、健康に関するものについて、産業医・保健師の協力のもと、健康施策の実施・運営を行う。2018年度からは健保組合との情報共有による連携体制構築を目指している。

4 高い意識を持ち、心身ともに健康に働き続けられる環境を実現

一般定期健診受診率は2013年度から継続して100%を達成。健診データをもとに、疾病の重症化予防や早期段階での改善策として、保健指導の対象者を全社員に拡大して実施している。社員の声を取り入れながらさまざまな施策を通じ健康増進・意識向上に努めた結果、2016年度の再検査受診率が、2013年度の20%台から70%まで上昇した。疾病やメンタル不調による長期欠勤・休職・退職者は、2013年度からほとんどいない状態を継続している。今後はストレスチェック結果と健診結果との相関性検証・分析に向け、健保組合との協議を進めている。

3 経営トップ自らが行うメンタルヘルス対策や、独自の健診項目による予防への取り組みを実施

●健診の受診勧奨

定期健診の項目を自社の健康課題に合わせて追加したことに加え、業務の状況に配慮した柔軟な受診環境を整備。再検査対象者に対しては、任意健診・検診の再検査費用を全額会社が負担する。

●高リスク者には若年期から保健指導を実施

健診結果により高リスクと判断される従業員に、保健指導や健康保持・増進の啓蒙を実施。2017年度からは40歳未満も対象とし、早期段階からの改善による生活習慣病の重症化予防や発生予防に取り組んでいる。

●公私ともにストレスのない環境づくり

経営トップらが社員一人ひとりに個別対応する質問会を定期的で開催。業務上の困りごとや家庭での悩みの解決に時間をかけて向き合い、従業員の精神的なケアにつなげている。



就業中に酸素BOXを利用し、いつでもリラックスできる環境を整備



健康に関連する資料の全社回覧「健康通信」



平成 29 年 3 月 24 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮 脇 宣 綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役 IR 室長 石 本 賢 一
(TEL 072-437-9010)

株式会社日本政策投資銀行による

「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」最高ランク格付取得について

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行(本社:東京都千代田区、以下「DBJ」という)が実施する「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」にて最高ランクの格付を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

「DBJ健康格付」融資は、DBJが独自の評価システムにより、企業の健康経営への取り組み、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取組みを展開して参りました。今回の「DBJ健康経営格付」においては、以下の点が評価されました。

- (1) 定期健康診断時に全役職員に腫瘍マーカー検査を追加した血液検査やピロリ菌検査等の独自の検査を実施するとともに、再検査を含め費用は全額会社負担としていることに加え、健康保険組合未加入の短時間勤務者に対しても同一の検査を提供している点
- (2) 会長直下の健康推進チームのもと、健診結果等のデータから健康課題を把握し、その解決や予防に向けて、従業員への豊富な社内回覧等の情報提供による啓発実施や、「健康ウォーク」等の健康増進イベントへの参加奨励等の対策を実践している点
- (3) 職場環境改善や積極的な勤労意欲の高揚等を目的として、全役職員がいかなる内容でも提言でき、必ず結果がフィードバックされる提案制度や、経営トップに直接質問・相談できる機会等を設けるとともに、質疑応答集をまとめ社内展開している点

当社は、昨年度、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「健康経営銘柄2016」に選定され、また、今年度は新たに経済産業省と日本健康会議が実施する「健康経営優良法人2017(ホワイト500)」にも選定されました。当社グループは、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取組みを継続的に行い社員のやる気を引き出し、長期的な業績向上を目指して参ります。



以 上

認定証



DBJ健康格付 2016



フジ住宅株式会社 殿

貴社は『DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付』

調査の結果

従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている

と認められました

平成29年3月24日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長

柳 正憲





平成 29 年 2 月 22 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

**フジ住宅が経済産業省・日本健康会議による
「健康経営優良法人2017 大規模法人部門（ホワイト500）」に認定されました**

当社は、平成29年2月21日付で経済産業省が日本健康会議と共同で認定を行う「健康経営優良法人2017 大規模法人部門（ホワイト500）」に認定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」とは、今年度より始まりました認定制度であり、上場企業に限らず、保険者と連携して優良な健康経営を実践している全国の医療法人をはじめとする大規模法人を対象に顕彰するものです。2020年までに500社を認定する予定で、初年度は2017年度の認定法人として、大規模法人部門（ホワイト500）において日本を代表する大手企業を中心に235法人が初めて認定され、当社もそのうちの1社に認定されました。

当社は、昨年の「健康経営銘柄2016」選定に続き、今年は「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を受け、ブラック企業の対極にあるホワイト企業として、今後ますます従業員等の健康管理を経営的な視点で考え健康増進に取り組む企業として長期的な視点から、業績・企業価値の向上を実現して参ります。

1. 「健康経営」に対する当社の考え

会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。

「企業は人なり。社員の健康・幸福なくして、顧客満足、会社の発展は成し得ない。」

フジ住宅は、創業当初よりお客様が安心して心から喜んで頂ける住まいを提供し続けることを当社の存在意義とし、事業を営んでおります。

お客様に心から幸せになって頂きたいと本気で考えるからこそ、まずは当社で働く社員が心身共に健康であること。仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが大切であると考え、その為の職場環境作りを徹底して行っております。

2. 健康経営に関する取組み

経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取組みを展開しております。

具体例の一例として、定期健診では法定内検査項目に加え、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査、乳がんエコー検査を全額会社負担にて導入しております。健康保険組合未加入のパート勤務社員に対しても全額会社負担にて実施し、事業所内で勤務時間中に健診を実施することにより 100%の受診率を達成しております。また、今年度より生活習慣病などに罹患するリスクの高い対象者を会社主導で抽出し、労災保険の2次健康診断を社内にて実施。重症化予防、早期発見、早期治療を目指し、生活習慣病の改善に繋げる取組みを行いました。

その他、再検査費用の全額支援や脳ドック補助金制度、家族健康診断斡旋制度等も設けております。職場環境改善への取組みとしては、全事業所に電解還元水整水器の設置や高気圧酸素ボックスの設置、モーツァルトをBGMとして採用する等があります。

また、社員が悩み、ストレスを溜める前に上司に相談できる環境を経営トップが率先して整え、当社の企業風土として定着しております。ストレスチェック義務化に伴い今年度から実施しましたストレスチェックでは、実施者の約96%が高ストレスを感じていないという結果になりました。

このような当社の姿勢、取組み内容がこの度の認定にて評価頂いたものと認識しております。

「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」に認定された名誉を全社員で共有し、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取組みを全社一丸で行って参ります。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【健康経営優良法人認定制度とは】（日本健康会議 HP より引用 <http://kenkokaigi.jp/>）

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。本認定制度は、中小規模の企業や医療法人を対象とした「中小規模法人部門」と、規模の大きい企業や医療法人を対象とした「大規模法人部門」の2つの部門に分け、それぞれの部門で「健康経営優良法人」を認定します。

※「大規模法人」とは製造業その他301人以上、卸売業101人以上、小売業51人以上、医療法人・サービス業101人以上（経済産業省発表資料より）

<御参考>経済産業省ニュースリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2016/02/20170221008/20170221008.html>



以上



2017
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

認定証

ホワイト500
(大規模法人部門)

法人名 **フジ住宅株式会社**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2017 (ホワイト500)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2017年2月21日

日本健康会議



健康を願う、想いをひとつに。
日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI



平成 28 年 11 月 16 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役 I R 室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

当社が暴力団追放功労表彰を受賞いたしました

平成 28 年 11 月 10 日付で、当社が「近畿管区警察局長・近畿ブロック暴追センター連絡協議会会長連盟表彰」を受賞いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 28 年 11 月 10 日（木）に第 25 回暴力団追放府民大会が開催され（場所：大阪国際交流センター大ホール）、当社の長年にわたる暴力団・反社会的勢力排除意識の向上と、警察と連携した暴力団排除活動の取り組みが評価され、「近畿管区警察局長・近畿ブロック暴追センター連絡協議会会長連盟表彰」を受賞いたしました。

なお、当社は、2 年前にも「大阪暴追センター会長・大阪府警察本部長連名表彰」の表彰を受けており、今回はさらに上位の表彰を受賞することとなりました。

今後も引き続き暴力団・反社会的勢力の排除に貢献して参ります。

以 上



平成 28 年 1 月 22 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証第一部)
問合せ先 取締役IR室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

フジ住宅が経済産業省・東京証券取引所による 「健康経営銘柄2016」に選定されました

フジ住宅は、平成28年1月21日付で経済産業省が東京証券取引所と共同で選定を行う「健康経営銘柄2016」に下記の通り選ばれましたのでお知らせいたします。

記

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場企業の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる優れた企業として選定されるもので、中長期的な視点から業績・企業価値の向上を実現し、株価の向上に繋がることが期待されます。

健康経営銘柄の選定は、「日本再興戦略」による取組みの一環として、昨年より実施され、昨年は東証全上場企業約3,500社中22社、今年は約3,600社中25社が選ばれ今回、不動産業種で初めて当社が選定されることになりました。

1. 「健康経営」に対する当社の考え

会社を創業するにあたり、創業者が何よりも大切にしたのは社員とその家族であります。

「企業は人なり。社員の健康・幸福なくして、顧客満足、会社の発展は成し得ない。」

フジ住宅は創業当初より、お客様が安心して心から喜んで頂ける住まいを提供し続けることを当社の存在意義とし、事業を営んでおります。

お客様に心から幸せになって頂きたいと本気で考えるからこそ、まずは当社で働く社員が心身共に健康であること。仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが大切であると考え、その為の職場環境作りを徹底して行っております。

2. 健康経営に関する取組み

経営トップが先頭に立ち、すべての社員が健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう枠にとらわれず柔軟性を活かし様々な取組みを展開しております。

具体例の一例として、定期健診では法定内検査項目に加え、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査、乳がんエコー検査を全額会社負担にて導入しております。健康保険組合未加入のパート勤務社員に対しても全額会社負担にて実施し、また事業所内で勤務時間中に健診を実施することにより100%の受診率を達成しております。

その他、再検査費用の全額支援や脳ドック補助金制度、家族健康診断斡旋制度等も設けております。職場環境改善への取組みとしては、全事業所に電解還元水整水器の設置や高気圧酸素ボックスの設置、モーツァルトをBGMとして採用する等があります。

また社員が悩み、ストレスを溜める前に上司に相談できる環境を経営トップが率先して整え、当社の企業風土として定着しております。

このような当社の姿勢、取組み内容がこの度の選定にて評価頂いたものと認識しております。

「健康経営銘柄 2016」に選出された名誉を全社員で共有し、今後も引き続き、社員の健康保持・増進に向けた取組みを全社一丸で行って参ります。

社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的な取り組みによる企業価値の向上を通じてお客様や株主様、機関投資家の皆様、地域社会の皆様、ひいては国家の繁栄へと繋がり、全てのステークホルダーへの社会的責任を果たすべくこれからも邁進して参ります。



プレゼンターの元バドミントン日本代表選手
潮田玲子さんと宮脇宣綱代表取締役社長



平成 28 年 1 月 21 日 発表会（イイノホールにて）

【「健康経営銘柄 2016」選定企業一覧（25 銘柄、銘柄コード順）】

銘柄コード	企業名	業種	備考
1911	住友林業	建設業	初選定
2120	ネクスト	サービス業	初選定
2502	アサヒグループホールディングス	食料品	連続選定
2651	ローソン	小売業	連続選定
3591	ワコールホールディングス	繊維製品	初選定
4452	花王	化学	連続選定
4507	塩野義製薬	医薬品	初選定
4543	テルモ	精密機器	連続選定
4902	コニカミノルタ	電気機器	連続選定
5012	東燃ゼネラル石油	石油・石炭製品	連続選定
5108	ブリヂストン	ゴム製品	連続選定
5332	TOTO	ガラス・土石製品	連続選定
5406	神戸製鋼所	鉄鋼	連続選定
5947	リンナイ	金属製品	初選定
7012	川崎重工業	輸送用機器	連続選定
7013	I H I	機械	初選定
7862	トッパン・フォームズ	その他製品	初選定
8001	伊藤忠商事	卸売業	初選定
8566	リコーリース	その他金融業	初選定
8601	大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業	連続選定
8766	東京海上ホールディングス	保険業	初選定
8860	フジ住宅	不動産業	初選定
9005	東京急行電鉄	陸運業	連続選定
9201	日本航空	空運業	連続選定
9719	S C S K	情報・通信業	連続選定

* 「健康経営」はNPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

* 選定方法は 33 業種毎 1 社選定（最大 33 社となりますが、該当企業がない場合、その業種からは非選定となります。今年 は 25 業種 25 企業が選定されました。）

<御参考>経済産業省ニュースリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2015/01/20160121001/20160121001.html>

<御参考>東京証券取引所ニュースリリース

<http://www.jpx.co.jp/news/0010/20160121-01.html>



平成 23 年 8 月 5 日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町 1 丁目 4 番 23 号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
(コード番号 8860 東証・大証第一部)
問合せ先 取締役 IR 室長 石本賢一
(TEL 072-437-9010)

平成 23 年度道路愛護団体等国土交通大臣表彰 受賞に関するお知らせ

平成 23 年 8 月 3 日付で、国土交通省より、当社が平成 23 年度「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰を受賞することが発表されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 受賞内容 平成 23 年度 「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰
2. 表彰の対象 道路の美化
3. 受賞の詳細
 - (1) 同表彰は、毎年 8 月の「道路ふれあい月間」にあたり、道路交通の安全と道路の正しい利用の促進、路面・横断歩道橋の清掃、路肩の除草、花壇の整備等、長年にわたり功績のあった民間の団体又は個人に対して授与される表彰です。
 - (2) 当社では、地域活動の一環として、中古住宅展示場「お・う・ち・館」岸和田店の前面道路を含む周辺道路一帯を、毎朝、当社の営業スタッフ約 30 名が道路清掃をしており、「お・う・ち・館」の前面歩道が「アドプト・ロード・土生町 2 丁目」と大阪府から認定されるとともに、平成 20 年 8 月に、当社の地域活動が道路の整備改善に尽力し顕著な功績を残したとして、大阪府道路協会の「道路功労賞」を受賞いたしました。さらに、平成 21 年 10 月に「お・う・ち・館」りんくう泉佐野店においても、地域の清掃活動への貢献として泉佐野市の「環境美化善行者表彰」を受賞いたしました。現在も、府、市、当社の相互協力の下、地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組んでおります。
 - (3) 当社はこうした長年の道路の美化に対する取り組みの実績により、今回、大阪府から推薦され、同表彰の受賞となったものであります。

以 上